

第二十九回 川柳マガジン東京句会
自由吟コメント 松橋帆波

※ 表 記

一生を描いた地図は夢のゆめ
下五「夢のゆめ」漢字仮名について
おせっかいよけいな事をしては悔い
「おせっかい」「お節介」
ムンクの「叫び」病める地球に問うている
「」について
マルクスを売りに行ったら嗤われた
「嗤う」「笑う」「晒う」の違い
歩いてるうちに永生きしたくなる
「歩いてる」「歩いている」上五の「い」抜きについて
泣いて済む話さ痛くなんかない
「話さ」の後、一字空けるかどうか

※ 対 比

本人は覚えていない自己主張
顔見知りなかなか名前浮かばない
逃げるとき以外のそのそ歩く猫
帰省する休暇届で山にいる

※見立て

どきどきを色々腑分け心電図
「腑分け」は他の言葉があるかも。
住宅街マネキンひとり捨ててある
ひとりという言葉による擬人化
八分音符のようにゴルフのピンが立ち
♪
湯に漬けて酒を注ぐと生き返る
人を何かに喩え、より人を強調

※ 時 事

アメリカを恋人にした国が泣き
来てみるとちょっとうれしい特別便
年金特別便
粉飾を知ったマウスの背が寒い
ネット株取引でしょうか

※競吟の世界で昔からよくある着想
咳ひとつTPOで使い分け
TPOは中七によく用いられる
呼ばれてる漫画佳境へ返事だけ
上五「呼ばれてる」「呼ばれても」と比較
紅引いて今日も男を食べに行く
男を食べるといふ表現は多い

※その他

昨日今日明日見栄なく夕暮れへ
明日を見る眼鏡ときどき拭いておく
昼の月バケツに張った薄氷
柿の木を植えて実が成るまで生きる
母さんを信じておんぶされている
キッチンをリニューアルして作らない
猫馬鹿だ猫の供養に5万円
軽トラで畑へ逃げる嫁の鬱

今回は、表記、対比、見立て、時事、競吟の世界でよく使われる表現、その他、と分類してみました。

句箋に書く場合の表記については、それぞれお考えをお持ちだと思います。仮名表記・漢字表記は、句意を伝えるために選択を迫られる場合があります。その辺についてご意見があればと思います。

見立て、時事は読み手に上手く伝わるかどうかを検証する機会になると思います。

よくある着想は、課題、句会の性格によっても違ってきます。昔からあるからダメというのではなく、読む側もその一句ときちんと向き合うことが大切と感じています。